

朝日の「宝物」たちのために

朝日地域学校運営協議会だより

令和5年5月 第1号



令和5年5月10日に、あさひ小学校を会場として令和5年度第1回目の朝日地域学校運営協議会が開催されました。本会も3年目(第2期目)の船出となりました。

そもそも学校運営協議会とは…「地域の子どもたちにはどんな教育が必要かということや学校・家庭・地域が共に考える場で、地域とともにある学校づくりが進むとともに、より良い学校を作ることがより良い地域づくりにもつながるというねらいをもって行うもの(あさひ小学校の学校だよりから)」です(年3回の開催予定)。



このおたよりは、小中学校全校の保護者の皆様には文書にて、そして朝日地域及び朝日地域に関わる全ての方々の方に届くよう、情報を発信する「ツールの一つ」としてあさひ小・朝日中それぞれのHPに掲載するものです。

さて、今回は主に「各小中学校の学校経営について」「今年度の本会の活動について」協議する場といたしました。以下に議事録を掲載いたします。

なお、今年度の学校運営協議会長は、昨年度に引き続き、地域学校協働本部コーディネーターの蛸井由美子様、副会長は朝日中PTA会長の渡部純一様となりますことを重ねてご報告いたします。また、菅原正成朝日中PTA顧問、及び元あさひ小小澤校長、同じく元朝日中の和田校長がご退任。新たにあさひ小PTA会長として菅原邦義様、あさひ小の佐藤英与校長、朝日中の秋山尚志校長をお迎えいたしました。

【協議】

①令和5年度の学校経営について

- ・小中学校それぞれの学校経営方針等が承認されました。

あさひ小学校 学校教育目標: ㊦かるく ㊧わやかで ㊨たむきな あさひっ子

朝日中学校 学校教育目標: 自立 協働 貢献 たくましく 優しく 賢く 主体的に生きる朝日中生

②学校経営に関する質疑及び今年度の活動について

(蛸井会長(司会))

学校が地域に対して大きな熱量を持っていることがわかるがいかがか。

土田三香子氏

中学校の話から、素晴らしい言葉を聞いた。「地域を愛し、社会に貢献…」など、当事者意識を持ち、自分に何ができるかを考える子になって欲しい。

佐藤雅秀氏

「自主」の次に「挑戦」となることをよくみるが、「貢献」と入れたところがすごい。具体的な活動はあるか。

秋山校長

新規に予定している活動は今のところまだないが、現在すでに行っている探究的な学習活動の中でより意識付けしながら取り組みたい。

寺嶋教頭

「感謝」という気持ちもあったが、「貢献」の方が意味合いが大きい。「貢献」と出すことによって「ありがとう」の気持ちが行き交うと考えた。

後藤誠氏

中学生が職場体験に4名ほど来る。別の仕事をしようと思っていた子から保育士になりたいという言葉も出る。子ども



たちには、いろいろな体験をさせていくことが大事だと考える。

渡部祐子氏

保育体験をする中で、仕事がいっぱいあったことを実感した。これまでは、ただ遊んでくれるだけかと思ったけど、違ったことがわかった。これからの仕事を考える上でよかったことだと思う。

司会

体験することはすごいこと。地域愛、貢献にどうつながるか。

菅原和則氏

5地区で集まったワークショップをする場、中学生が参加すると盛り上がる。しっかりと話す子どもたち。地域の中の話し合いに中学生が入るとありがたい。

安達一春氏

コロナの時代で話し合う機会が減った。社会人と中学生が触れあう、話し合う場を意識的に持っていかないといけない。地域の中で教育力を育てることになる。

菅原邦義氏

駅伝大会など、かつて中学生と交流があった。中学生で交流を楽しめた子が社会人になって戻ってきてくれることを期待したい。

司会

ジュニアキャンプ、かだんこの会など朝日には子どもを育てる会がある。

渡部純一氏

コロナで活動が3年止まっていた。「参加してよ」と言ってもつながりが薄くなってきた。運動会など競争がなくても遊びでいいから始めたい。中学生も成長期に入り、声かけも踏み込みづらいものもある。つながりを持って行くことは大事。

渡部政治氏

素直な子たちだが、集まって話すことが出来ない。大網の児童は4人。地区の若い人(30~50代)と行事関連等の意見調整が難しい。

山口弘美氏

地域に人がいない。地域ビジョンを策定している。少子高齢化の中でできることを考えよう。競技からレクへ、そして子どもたちと関わりを持っていこう。

阿部努氏

学校の経営説明を聞いて、様々な活動に協力していきたい。学校と保護者が理解し合うと地域も動くのではないか。地区の高齢化については、高齢者も自立するという意識や「高齢者が元気で建設的(楽しく)に生活している姿を見せることが大切だと思う。

司会

話を子どもたちに戻して、週末学習塾他、若い人が何をしているか注目されている。

五十嵐孝義氏

30年前は、朝日の子は町の子と違う面があった。今、デジタル化が進み、都会の子と朝日の子もあまり変わらない。どこに住んでも同じような様子になってきた。



【ご指導 庄内教育事務所 岸田社会教育主事】

熱量のある方(願い)、力のある方(能力)、そして「愛」のある方(心)が揃っているのが朝日地域。共通の土台を元に、一歩一歩確実に歩を進めている実情。「行動する協議会」へと進化させて欲しい。地域のつながりづくりも進めながら、持続可能な体制づくりへ。そのためには、「口コミ効果」。てづねーたークラブ等による共有者の広がりを大切にし、そこが「ブレイン」となって一体的に推進を。



以上、議事録を元にお伝えいたしました。なお、この会議はKCTより撮影いただきました。後日紹介があるかと思っておりますので、そちらもご覧下さい。今後の本会の活動にご理解とご協力、よろしくお願いいたします。

尚、次会第2回(11/15水)は小中学校の教職員との合同研修会となっております。忌憚のないご意見を互いに発表し合える場としたいと考えております。